

北海道開発土木研究所平成13年度業務実績評価調書

業務運営評価

評価項目	評価	着実な実施状況に無いと認められる理由	その他コメント等
1業務運営の効率化			
(1)事務の効率化			
1) 「人事 給与システム」及び「会計システム」の導入			パッケージシステムを導入 運用したことにより、広範な事務を一体として処理できるようになった。
2)事務処理の電子化によるペーパーレス化			所内外の情報交換及び事務連絡について、電子メール、所内LAN、パソコンの掲示板等を活用し、ペーパーレス化を図っている。
3) 図書管理 検索システム」及び「論文検索システム」の導入			図書管理 検索システム及び論文検索システムを導入するとともに、インターネットによるアクセスを可能とし、研究者相互の交流 連携が図られている。
4)一般管理費の抑制	-		平成14年度以降に縮減を行うこととしているため評価対象外
(2)研究評価			
1) 「運営委員会」を開催し、評価結果をホームページ等を通じ公表			研究評価については、外部委員14名及び内部委員7名の自己評価委員会を設立し、研究課題ごとに評価 議論がなされている。
(3)施設設備の効率的利用			
1)大型研究施設に関する外部の活用ニーズ把握及び外部利用の規程整備			民間への貸し出しに必要な規程の整備、インターネットホームページ及びパンフレットによるPRを行い、3ヶ月で5件貸し出しを行っている。

2国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置			
(2)他機関との連携等			
1)共同研究の推進のための規程整備及び共同研究の推進			新規共同研究23件(中期計画中の目標60件の38%)を実施している。
2)流動研究員派遣、受け入れ			山梨大学及び科学技術振興事業団からの受け入れを行うとともに、研究体制の充実を図りつつ、他機関との研究者の流動性を高め、研究成果の質の向上及び普及に努めている。
3)研究員の海外派遣、受け入れ			海外の国際研究集会 調査等へ19件40名を派遣している。 日本において情報入手が困難なロシア等の寒冷地における災害及び事故の調査に積極的に派遣 参画し、技術的知見を得るとともに、これらの情報を発信することを期待する。
(3)技術の指導及び研究成果の普及			
1)他機関からの技術指導等の要請に積極的に対応			土木学会等から委員等の委嘱を受けるなど、他機関からの技術指導等の要請に対応している。
2)地方公共団体等からの要請に基づく技術者の受け入れ、育成			地方公共団体等から13名を受け入れている。 依頼研修員については、自治体側に余裕が無い場合もあるので、地方自治体の技術力向上のための講習会等に今後とも力を入れてもらいたい。
3)北海道開発土木研究所講演会等を年15回程度開催			各種講演会等を26回開催している。
4)学会等における研究成果の紹介			研究成果について、解りやすい解説書を作成しており、技術の普及という意味で高い評価に値する。
5)月報、年報、パンフレットの作成、発行、配布			従来より月報を500部追加し、自治体及びコンサルタント等に配布するなど、成果を広く活用してもらうための活動を行っている。
6)研究論文の発表 掲載			研究論文の発表数は326件(中期計画中の目標1,400件の23%)である。 今後は査読付き論文の発表数をあげる努力をしてもらいたい。(査読付きH13:73件、H12:43件) また、研究の質の評価については、引用論文数によるほうが本質的な評価となる。
7)特許出願数			8件の特許を出願(中期計画期間中の目標15件の53%)した。

8)知的所有権に関する関係規程の整備			知的所有権に関する関係規程を整備するとともに、特許に関する解説資料により、研究員に啓蒙を図っている。
9)寒地土木技術センターとしての研究情報の収集 提供 管理			図書管理 検索システム及び論文検索システムを導入することで、内外の研究者に対する研究支援を行っている。
10)月報に掲載された報文のホームページへの登録			計画どおり月報に掲載された報文のホームページへの登録を行っている。
11)技術相談窓口の開設			技術相談窓口を開設すると共に、インターネット・ホームページ等でPRを行うなどし、102件の相談件数があった。
12)試験 研究成果の月報、ホームページ等を活用した公開			月報の配布及びインターネット・ホームページの利用などにより、業務内容の公開を行った。
13)研究所一般公開の開催			研究所の一般公開を開催し、1,000人を超える来場者があった上、その模様はTVでも取り上げられ、研究活動についての情報発信が行われた。
(4)試験研究費等の受託			
1)北海道開発局等からの受託業務の獲得			北海道開発局だけでなく帯広市など地方公共団体等からも業務を受託している。
2)文部科学省、環境省所管等の競争的資金の獲得			文部科学省の競争的資金の獲得は減ったが、その他の機関から資金を獲得した。
3)地方公共団体等からの技術相談への対応			2件の業務を受託すると共に、102件の技術相談を受けた。
(5)災害時の支援			
			防災業務計画を策定するとともに、北海道開発局からの災害等に関する12件の要請に対応している。
3予算、収支計画及び資金計画			
	-		平成14年度以降に縮減を行うこととしているため評価対象外
4短期借入金の限度額			
	-		平成13年度は該当なし
5重要な財産を譲渡し、または担保に供しようとするときはその計画			
	-		平成13年度は該当なし

6剰余金の使途(短期集中的に取り組む研究の前倒し等)			
	-		平成13年度は該当なし
7その他主務省令で定める業務運営に関する事項			
(1)施設・整備に関する計画			
			研究等の進捗状況を見つつ、試験施設の拡充を行った。
(2)人事に関する計画			
1)北海道開発局等との計画的な人事			行政ニーズに的確に対応した研究活動の実現に向け、北海道開発局等との間に47名の人事交流を行った。 研究者の育成という視点を人事上考慮することも考えられる。
2)大学等との開かれた人事交流 3)外部資金等による研究員の確保			研究の活性化を図るため、任期付研究員の採用のほかに外部資金を活用した研究者の受け入れを進めてもらいたい。
4)任期付研究者を含めた新規採用			計画どおり任期付研究員を採用している。 任期付研究員について、研究者間の国際的なネットワークの構築という観点からも、日本の大学で学位を取得した留学生等、今後とも外国人の採用を視野に入れてもらいたい。
5)研究能力の高い研究者の育成			所内研究会及び若手研究発表会等を実施し、若手研究者の育成に努めている。
6)国が行う研修等への職員の参加			行政ニーズに対応した研究活動の実現のため、国土交通省等が実施した研修に30名の職員を参加させている。
7)人事に係る指標			期初の常勤職員数は、計画どおり178名で発足した。

:着実な実施状況にある ×:着実な実施状況にない

業務運営評価 判断

判断
(順調) ・ 概ね順調 ・ 要努力

順調 :すべて 概ね順調 :7割以上 要努力 :7割未満

個別業務評価(アカウントビリティ評価)

判断の観点	判断
主要業務が目的思想的に企画立案・実施されているかどうかについて、自己評価において十分説明がなされているか	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;">良好</div> ・ <div style="margin-left: 10px;">要努力</div> </div>
国民への説明責任を果たす上で、自己評価結果がわかりやすいものになっているか	
適切な自己評価体制や実施方法が確立されているか	

3つの観点に基づき総合的に判断

説明責任向上の努力を要する』と判断した場合にはその理由

その他コメント等：

- ・自己評価委員会による評価結果の中で、水循環に関する研究において河川、環境、港湾、水産土木のそれぞれの分野が研究レベルで連携することで、より大きな成果につながるという評価は非常に良い指摘である。
- ・自己評価委員会の評価結果において、研究内容やその方向性に関して所要の追加検討を必要とする課題も散見され、計画の一部見直しの意見を受けたものが1課題あった。
- ・自己評価結果委員会の結果については、今後の研究活動に反映させるとともに速やかにホームページに掲載し、公表する予定となっている。

総合的な評価

業務運営評価		個別業務評価 (アカウントビリティ評価)		総合的な評価
				③
順調	②	良好	①	2
概ね順調	1	要努力	0	1
要努力	0			0

【自主改善努力】

『相当程度の努力が認められる』とはしない。

優れた実践的事例に近いと認められるものもあるが、光熱機器の経費削減のための職員の意識啓蒙や中期目標等の項目の再掲など、自主改善努力として記載することに疑問を感じる内容のものもある。

【その他総合的な評価にあたってのコメント】

施設の貸し出し、他機関との連携、講演等を実施しているが、これらについて、施設利用者、他機関、講演参加者等から意見 評価を積極的に聞き取り、今後の運営に反映すべきである。